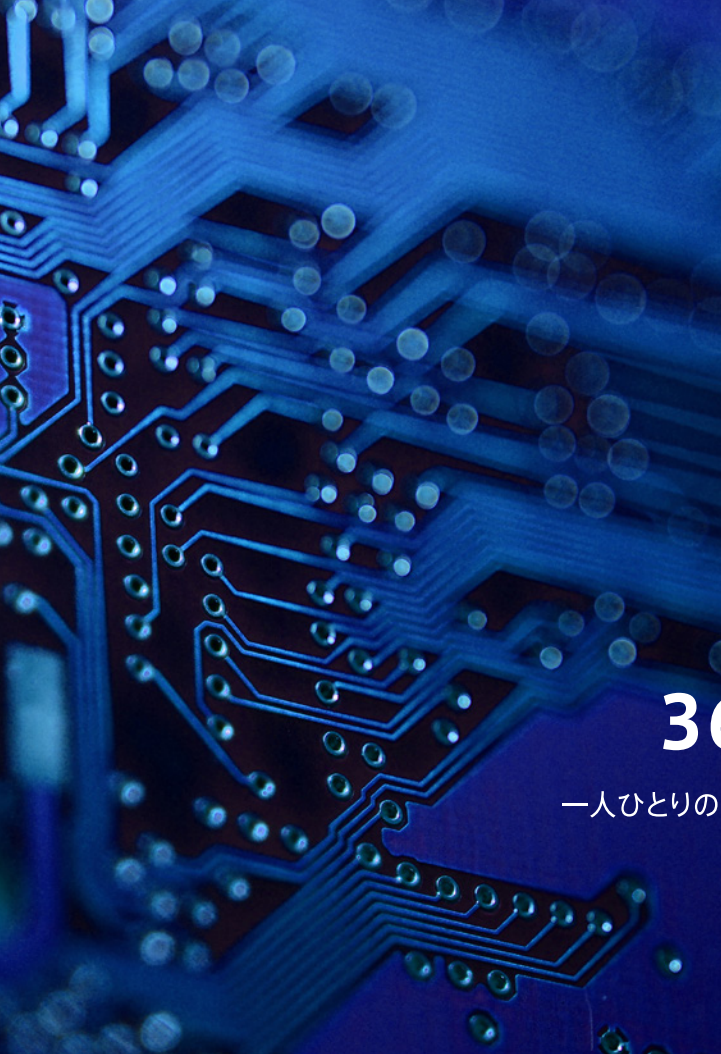




Mission

世界中の未来をつくる

大切な地球と人びとの、豊かで夢あふれる明日を実現します。



Vision

360° business innovators

一人ひとりの「挑戦と創造」で事業を生み育て、社会課題を解決し、成長を続ける企業グループ。





Values

「挑戦と創造」を支える価値観

変革を行動で
個から成長を

多様性を力に
真摯に誠実に



統合報告書をお届けするにあたって



2020年5月に改定した三井物産の経営理念 (Mission、Vision、Values : MVV) のVisionは「360° business innovators」です。これは旧三井物産*初代社長である益田孝の「眼前の利に迷い、永遠の利を忘れるごときことなく、遠大な希望を抱かれること望む。」という言葉に込められた精神を前面に打ち出したものです。当社が創立以来原点としてきたこの志は今も変わらずに受け継がれており、事業活動を通じて長期的な社会の発展に寄与しながら、成長を続ける企業グループを目指しています。

当社は、サステナビリティを重視した経営を推進しており、持続的な成長を実現するための重要な経営課題として5つのマテリアリティ「安定供給の基盤をつくる」「豊かな暮らしをつくる」「環境と調和する社会をつくる」「新たな価値を生む人をつくる」「インテグリティのある組織をつくる」を特定しています。マテリアリティを基軸とした事業活動を進めていくことで、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」の課題の解決にも貢献できると考えています。

新型コロナウイルスの感染拡大により事業環境は大きく変わりました。さまざまな分野でオンラインサービスが拡充し、テレワークが一気に進展するなど、コロナ禍を奇貨としてデジタル化、グリーン化への流れが加速しました。特に気候変動を中心にサステナビリティへの

意識は急速に高まっており、日本政府は昨年度公表した2050年カーボンニュートラルという目標に加え、本年度は、2030年の温室効果ガスの2013年度比46%削減という新たな目標を発表しました。このように事業環境が著しく変化する中だからこそ、持続可能な社会の実現に向けた取り組みの重要性は増していると考えています。先に述べたMVVや当社の原点となる志を胸に、社員一人ひとりが事業活動を通じ、社会課題の解決に貢献することに努めて参ります。

また、ESG (環境・社会・ガバナンス) への注目の高まりを受け非財務情報の重要性は増大しております。本年度で4年目の発刊となる統合報告書の作成にあたっては、国際統合報告評議会 (IIRC) 提唱の「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省発表の「価値協創ガイドランス」を参照しながら、ステークホルダーの皆様からの多くのご意見を参考にさせていただきました。当社の価値創造を分かりやすくお伝えすることを目的に、組織を横断した考えを集約するべく、各部門間で緊密な連携を図り、経営会議や取締役会での議論を踏まえ、誠実に作成していることを表明申し上げます。

2021年8月

代表取締役会長
安永 竜夫

* 法的には、旧三井物産と現在の三井物産には継続性はなく、まったく別個の企業体です。